

個人議員研修復命書

①予算決算常任委員会道内行政視察

| | | |
|---------|---|---------|
| 小笠原照美議員 | ・ | 竹中隆浩議員 |
| 鎌倉和雄議員 | ・ | 水戸部正博議員 |
| 佐々木政義議員 | ・ | 佐々木 誠議員 |
| 大島憲昭議員 | | |

資料については、事務局に保管しておりますので、
閲覧を希望される方はご連絡ください。

豊富町議会事務局 TEL : 0162-73-1755

出張復命書

令和6年11月11日

豊富町議会議長 様

氏名 小笠原 照 美

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

| | |
|-----|--|
| 用務 | 議員道内行政視察 |
| 用務先 | 10/15 三笠市 三笠市役所 10/16 江別市 北海道消防学校 10/16 大樹町 エア・ウォーター(株) バイオガスプラント 10/17 留辺蘂町 (株)エムリンクフォールディングス ふぐの陸上養殖 10/18 東神楽町 東神楽町役場 |
| 期間 | 令和6年10月15日(火)から10月18日(金)まで 4日間 |

用務の概要 (会議等の概要)

10月15日 三笠市 ふるさと納税及び移住定住について

豊富町の令和6年度ふるさと納税取扱高1億円を下回る見通しである。各自治体では厳しい財政の中、生活、福祉関連事業の独自性を持った運営にふるさと納税を活用した政策を実施している。三笠市については近年16億円の取扱など急速に伸びている。

また、企業版ふるさと納税を取り扱っており、その内容について説明をしていただきました。

- 令和5年度の主な取扱は米が全体の81.5%となっている。要因は精米工場が三笠市にあり、他市町村の生産米も返礼品として取扱できる事
- 主な用途は「高齢者外出支援・子ども医療費助成・乳幼児おむつ購入費助成等福祉関連で約1億2千万円」、「高校生レストラン運営事業費で約87百万円」、「小中学校給食費無償化事業・北海盆踊り実施助成等教育、文化保存関連事業で約8千万円」
- 企業版ふるさと納税は各課の予算案策定の際、新規事業に対して同納税企業がほぼ義務付けられている。

三笠市は人口減少による財政難と考えられるが、ふるさと納税による生活・福祉施策の停滞を解消し、同納税を町民に見える化している。豊富町も町民が安心して暮らせるまちづくりにも、今後同納税制度の活用により創意工夫が必要と痛感する。

10月16日 江別市 北海道消防学校視察

令和6年7月に新校舎が落成。全道各地から新採用消防署員が5ヶ月間研修や夫々の専門的研修で利用され、年間約1,000名が学んでいる。

同新校舎の特徴は、ZEB認証を取得し太陽光発電パネルの設置(66kw)で年間一次エネルギー消費量を国の定める基準から79%削減する計画だが、冬季間の問題が残ると空調は空冷式冷暖房エアコンを導入している事から、66kwの容量では不安が残る。

今後、寮施設整備が進められるが、個室設備に多額費用を要することから、利用者の環境整備に配慮が必要と感じた。

10月16日 大樹町 ユニット型バイオガスプラント

100頭規模の繋ぎ牛舎でも可能なプラントを視察。

技術の進歩を痛感すると共に、機材の省力化等は説明にも納得するものが多かった。特に注目すべき点は下記の事項が考えられる。

①投資効果は15年必要の事だが、再投資する場合の将来像が見えない。

②糞尿は強酸性であり、15年間で部品等の劣化は大丈夫か？

③牛舎の電気で高圧電力を必要とするが、不足は起きうる可能性はあると思う
過去にもバイオガスプラントであり成功例が少ないが、新技術の効果に期待する
処大であると感じた。

10月17日 留辺蘂町 陸上養殖及び障がい者雇用について

株式会社エムリンクホールディングスが留辺蘂町滝の湯で温泉水を利用して高級魚トラフグの陸上養殖をはじめ、現在出荷に至っている施設と養殖技法など説明を受ける。飼育段階に水槽が分かれており、温泉水の熱を使用しているところが、同施設の特徴でもあり、それが陸上養殖に適しているとも言える。

但し、フグの場合、出荷まで何度か前歯の剪定が必要なことから、障がい者が労働する事に無理があると考えられ、地域貢献に繋がるかは疑問である。

10月18日 東神楽町 複合施設はなのわ施設見学について

複合施設はなのわ建設に向けた取組について詳細に説明を受ける。

同町では平成29年11月に公共施設集約化検討委員会を設置し(町内の各団体代表者などで構成)平成30年2月に複合施設整備事業基本構想を策定している。

豊富町においても、新庁舎建設の基本的考え方が見えない現状では、各施設を活用した分散型か行政機能を集約した集中型の選択かを決断すべきと痛感する。

今後の人口の動向等を考えたとき、機能を集約化も選択肢として、議会、町民と議論を進めていくべきであり、急ぐ課題でもあると思う。

※今回の研修では、各自治体が高齢化、人口減少等財政が厳しい中、地方創生のため、財源確保と町民が安心して住めるまちづくり事業に積極的に取り組んでいる事に改めて感銘したところです。

過疎化が進む中であっても、経済の基本を成す一次産業の活力が地域社会にとって大切であり、今後は、官民一体で振興策に取り組むことが重要であるし、これまでの慣例に捕らわれない奇抜な発想もあってよいのでは…？

出張復命書

令和6年10月25日

豊富町議会議長 様

氏名 竹中隆浩

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

| | |
|-----|--|
| 用務 | 議員道内行政視察 |
| 用務先 | 10/15 三笠市 三笠市役所 10/16 江別市 北海道消防学校 10/16 大樹町 エア・ウォーター(株) バイオガスプラント 10/17 留辺蘂町 (株)エムリンクフォールディングス ふぐの陸上養殖 10/18 東神楽町 東神楽町役場 |
| 期間 | 令和6年10月15日(火)から10月18日(金)まで 4日間 |

用務の概要（会議等の概要）

10月15(火) 三笠市議会 ふるさと納税/移住定住

三笠市を訪問し、ふるさと納税および移住定住に関する取り組みを調査しました。特に令和3年度および令和4年度の納税額の増加、返礼品の種類、移住支援事業についての情報をお聞きしました。

ふるさと納税は、平成20年から始まり令和3年度は5億4千万円。令和4年度は18億円に増加しました。返礼品は300種類で主に農作物、特に米が中心です。ふるさと納税を担当する職員は5名で、PR費よりも受付サイトを多く持つ戦略をとっています。現在は11社で令和7年には14サイトに増加予定です。納税金の用途は、ほぼ金額を使用し、8分野に設定し、特にまちづくりや市民活動に活用されており、「夢をはぐくむまちづくり事業」として移住定住を促進しています。移住支援事業は家賃助成、新婚支援、空き家活用などの施策が実施されています。

市の移住定住情報は充実しており、家や仕事、補助金制度に関する情報が提供されています。ふるさと納税の戦略として地場産の考えを広げ、加工品やコラボ商品などの返礼品を増やす必要があります。

より広範なPRを通じて、他地域の成功例、紋別市などを参考にし、納税額の安定を図るべきです。

三笠市の取り組みは、将来的な発展に向けた基盤が整っていると感じました。

地元の特産品や三笠高校を活かしたふるさと納税のモデルとして、他市町村の参考となる事例だと思えます。

10月16日(水) 江別市 消防学校 視察

北海道消防学校の新校舎は令和6年7月に完成で、年間約1000人の受講生が訓練を行う施設です。平成29年に実施された耐震化診断の結果、校舎の改築が妥当であるとされ、今回の新校舎建設が決定されました。新校舎は国の基準から一次エネルギー消費量を79%削減する計画で道有建築物として初めてNearlyZEB認証を取得していることをお聞きしました。エアコンやLED照明の導入、断熱性能の向上、自然採光と自然換気を活用する設計が

施され、屋上には64kwの太陽光発電設備が設置されています。また、令和3年には震災対応訓練施設、令和4年には模擬消火訓練施設が新たに整備され、ヘリポートとしても利用されています。教育面では、最大150名収容可能な大教室のほか、学習に必要な防火衣の洗濯や乾燥室も新設されました。

衛星の観点から、洗濯や乾燥室の施設整備において、検討すべきと考えます。

10月16日(水) 大樹町開進 北守牧場 エア・ウォーター(株) バイオガスプラント 視察

ユニット型バイオガスプラントは、トラックで輸送可能な大きさで、現地での工事を最小限に抑えることが可能です。この設計により、設置工期の短縮が図られ迅速な稼働が期待されます。プラントは100頭規模でふん尿量は1日6.5トン、発酵槽は2基、発電量は327kw、消化液量は1日あたり5.5トン、再生敷料量は1日0.41トンで、プラントで発生するエネルギーはFIT売電または自家消費が可能で、分解された消化液は粘性が低く肥料成分が土壌中に速やかに浸透するため、良質な液体有機質肥料として利用できます。乾燥固形分は敷料として再利用でき、敷料コストを大幅に削減可能です。衛生面を考慮しており、悪臭や病原菌の発生を抑制し、地域環境の保全にも貢献できると考えます。

耐用年数と工事費には不安がありますが、良い物だと思います。

10月17日(木) 留辺蘂町 ふぐの陸上養殖/障害者雇用 滝の湯センター夢風泉 視察

フグの陸上養殖事業は、5年前に障害者に働き甲斐を提供することが目的で事業が始まりました。施設は温泉のミネラルと熱を活用した省エネで、これまでに2回のフグの出荷が完了しており、現在は3回目のフグの稚魚300匹が養殖されています。強アルカリ性の温泉水を利用し、人工的に塩を加えて、塩分濃度1.0%水温は22℃に保たれ、フグの成長に適した環境となっています。

フグは販売価格も高く、販売ルートは徐々に確立しつつありますが、道東では食べる文化が根づいておらず、これをどう広めていくかが課題となっています。

障害者が従事している作業は週3回水槽の清掃に限定されていますが、雇用の場として大きな可能性を持っていると思います。

10月18日(金) 東神楽町 複合施設はなのわ 視察

「はなのわ」は、町民の多様なニーズに対応するために建設された複合施設であり、施設が集約されています。役場庁舎、文化ホール、防音スタジオ、調理実習室、会議室、サークル活動室、図書館、カフェサロン、調剤薬局、診療所(公設民営)、バスセンター、社会福祉協議会、フラワーガーデンがあります。平成29年に町民20名で構成された公共施設集約化検討委員会を設置、令和1年に基本設計が完了。設計者は東神楽町に縁があり、世界的に活躍し、多くの賞を受賞している建築家の藤本壮介氏が設計。令和2年には実施設計が完了し、建設は令和3年から始まり、4年目の現在フラワーガーデンが整備されています。

古い公共施設8箇所を解体し、平成に建設された役場庁舎と図書館を残し、解体した床面積と同等の面積の施設を新たに建設、屋上には太陽光パネルと蓄電池(15kw)を設置し、建物の全体の1割を賄うシステムが導入されています。

事業に関連した取り組みとして、文書保管庫の削減や事務机から引き出しの廃止、事務用品の一元化、文書管理システム規定を改定(保存年限を30年に見直し、有線電話からスマホ内線に移行、文書管理システムを導入し、紙から電子決裁に移行、紙契約書から電子契約に移行、書かない窓口、事前システム導入、公共施設予約システムによるスマートキーの導入、診療所において電子カルテシステム導入。

建設費は総額45億円、この集約化された施設により、1ヶ所でさまざまな用事が済むことができ、利便性が高く、魅力的な複合施設でした。

先進的で持続可能な公共施設のモデルだと思います。

専門的に募集した地域協力隊が10名おり、専門スキルを活用することで、地域の力を引き出しつつ人件費や管理費を削減し、素晴らしい取り組みだと思います。

出張復命書

令和6年10月25日

豊富町議会議長 様

氏名 鎌倉 和雄

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

| 用務 | 議員道内行政視察 |
|------------------|---|
| 用務先 | 10/15 三笠市 三笠市役所 10/16 江別市 北海道消防学校 10/16 大樹町 エア・ウォーター(株) バイオガスプラント 10/17 留辺蘂町 (株)エムリンクフォールディングス ふぐの陸上養殖 10/18 東神楽町 東神楽町役場 |
| 期間 | 令和6年10月15日(火)から10月18日(金)まで 4日間 |
| 用務の概要(会議等の概要) | |
| 10月15日 | <u>三笠市議会～ふるさと納税 移住定住</u> 当町の6倍強のふるさと納税があり、これの取り組みが発想の転換等から伸びていると説明があり、興味を引いた。 移住定住に対しても、炭鉱閉山から人口減少を考えている事に、興味があった。 |
| 10月16日 | <u>北海道消防学校</u> 新校舎が7月に完成する中で施設整備が進められていた。当町からも消防職員が研修に参加している所から継続と新たな技術力を学び、消防力の強化に進んでほしい。 <u>大樹町 エア・ウォーター(株) バイオガスプラント施設</u> 中小酪農家の牛糞をユニット化による安定処理と発電でコスト削減、処理後の堆肥を草地に戻すなど一貫した有効活用が見えて勉強になった。 |
| 10月17日 | <u>留辺蘂町 滝の湯センター夢風泉</u> 陸上でトラフグの養殖を行う中で、障害者雇用を促進しており、現在500匹のトラフグ養殖、今後増加する事も視野に入れているとの事で、当町でも何かの陸上養殖が出来ないかと思われた。 |
| 10月18日 | <u>東神楽町 町役場複合施設(はなのわ)</u> 町役場の新築にあたり、ペーパーレスを柱に診療所、院外薬局、文化ホール、教育委員会 社会福祉協議会などを円形の通路で連系し、町民が利用しやすくした施設で、当町の役場建設に向けて勉強になった。 |
| 以上、大変有意義な4日間でした。 | |

出張復命書

令和6年10月28日

豊富町議会議長 様

氏名 水戸部 正 博

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

| | |
|-----|---|
| 用務 | 議員道内行政視察 |
| 用務先 | 10/15 三笠市 三笠市役所 10/16 江別市 北海道消防学校 10/16 大樹町 エア・ウォーター(株) バイオガスプラント 10/17 留辺蘂町 (株)エムリンクホールディングス ふぐの陸上養殖 10/18 東神楽町 東神楽町役場 |
| 期間 | 令和6年10月15日(火)から10月18日(金)まで 4日間 |

用務の概要（会議等の概要）

①三笠市 ふるさと納税/移住定住

ふるさと納税返礼品はR5で16億5千万円 サイトはふるなび、さとふるなど11社
経費の割合49.8% 返礼品30%業者10%サイト10% 約1万件
使途は地域・産業振興・観光(5.6%)・環境・衛生環境・健康・医療・福祉(15%)・安全・防災・
移住定住・まちづくり・教育(10%)など
主な返礼品は米が81.5%で三笠だけでなく空知管内米も使用
裏話として米が取れなくても精米所があればOKだそうです。
返礼品は種類は40から100種類に増加。飛騨高山の高級家具、100万円クラスなどもこちらの
常識より売れたりするそうです。

移住定住では新婚新生活支援事業で1世帯あたり30～60万円を上限助成、若者移住定住促進
家賃助成事業では、単身者に3か月6万円を上限として36か月、若者世帯者で3か月9万円を上限
に60か月の助成。

②江別市 消防学校

一次エネルギー消費量の収支をゼロとする事を目標としてZEB認証を取得
近隣消防機関の拠点として機能。ドクターヘリ発着が可能な広い敷地。

③大樹町 北守牧場 エア・ウォーター(株) ユニット型バイオガスプラント

ユニット化によりトラック輸送な資材…低コスト化、移設、増設。糞尿全てを再利用…液肥と敷料
メタン発酵槽は、1基65m³(50頭規模)。初期費用は8千万～1億くらいとの事でした。(百頭規模)
現代の環境に配慮した良い実証実験だと思います。
今、使われている堆肥舎は液体に対応していない。

④留辺蘂町 滝の湯センター夢風泉 ふぐの陸上養殖/障害者雇用 (株)エムリンクホールディングス

温泉水を利用した、とらふぐの養殖 温度22℃で管理 PH7.19 2年で1.5kg
ふぐは共食いをするそうで、ひれのない、ふぐを10匹ほど別にしていました。
施設利用者は 週2～3回 3～4人 この施設で就労。片道1時間程度係るそうです。
まだ、北海道では ふぐ料理になじみがないとの事でした。
が、高級魚として、選定したそうです。

⑤東神楽町 複合施設はなのわ

平成24年から策定を始めて、既存施設を利用しながら、合理的で見栄えの良い施設が出来上がった
と思いますが、周りを取り囲む花壇や樹木の手入れが重荷にならないかと思いました。
デザインにどれほど予算が組めるか？

出張復命書

令和6年10月23日

豊富町議会議長 様

氏名 佐々木 政 義

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

| | |
|-----|--|
| 用務 | 議員道内行政視察 |
| 用務先 | 10/15 三笠市 三笠市役所 10/16 江別市 北海道消防学校 10/16 大樹町 エア・ウォーター(株) バイオガスプラント 10/17 留辺蘂町 (株)エムリンクフォールディングス ふぐの陸上養殖 10/18 東神楽町 東神楽町役場 |
| 期間 | 令和6年10月15日(火)から10月18日(金)まで 4日間 |

用務の概要（会議等の概要）

- 三笠市ふるさと納税について税務財政課長より受入実績の推移、ふるさと納税募集の際の使途、主な返礼品やこれらの主な使途など8項目の内容説明を受けた。
- 江別消防学校新校舎の概要説明を受け、その後施設内見学、校舎に導入した技術高効率等
- 大樹町北守牧場さんに設置してあるユニット型バイオガスプラントの視察。
エア・ウォーター株式会社社員よりプラント概略・バイオ液肥・再生敷料の有効活用など説明を受けた。小規模のつなぎ飼い牛舎をターゲットとしたセミ乾式バイオガスプラント開発。
- 留辺蘂町滝の湯センター夢ふうせんにて、ふぐの陸上養殖場内を視察。
障害者雇用していて、養殖場内の清掃等を行っている。
- 東神楽町にある複合施設「はなのわ」内施設見学、整備事業について説明を受けた。
事業費48億、国から1/4にあたる12億の交付金を利用している。
役場庁舎・診療所・調剤薬局・文化ホール・調理実習室・会議室・サークル活動・防音スタジオ・多目的交流室などある。
また、はなのわガーデン・地域おこし協力隊など

出張復命書

令和6年10月25日

豊富町議会議長 様

氏名 佐々木 誠

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

| | |
|-----|--|
| 用務 | 議員道内行政視察 |
| 用務先 | 10/15 三笠市 三笠市役所 10/16 江別市 北海道消防学校 10/16 大樹町 エア・ウォーター(株) バイオガスプラント 10/17 留辺蘂町 (株)エムリンクフォールディングス ふぐの陸上養殖 10/18 東神楽町 東神楽町役場 |
| 期間 | 令和6年10月15日(火)から10月18日(金)まで 4日間 |

用務の概要（会議等の概要）

1. 三笠市 ふるさと納税の状況について

ふるさと納税額の推移

平成20年～平成29年までは最大96百万

令和元年度260百万、令和3年度544百万、令和4年度1795百万、令和5年度1653百万

と令和元年度以降驚異的な伸びを示しており、この要因は返礼品のメインの米とスイカ・メロンなどの人気によるものと思われるが、市役所全体での返礼品開拓や令和3年度以降はコロナ禍による外出自粛で自宅での買い物が増えたのが原因ではないかと市では言っていた。

また、新たな返礼品では高級家具やお墓参り代行など時代に即した新しい発想もある。

一方、ふるさと納税の用途では、

- ①人が育つまちづくり ・小中学校給食費無償化
- ②人が元気で働けるまちづくり ・農業チャレンジ補助金事業
- ③人が快適に生活を楽しむまちづくり ・住まいのリフォーム助成事業
- ④人が安心して暮らせるまちづくり ・高齢者外出支援事業
- ⑤人が未来に向かって夢を育めるまちづくり ・結婚新生活支援事業、遠距離通勤支援事業
- ⑥三笠鉄道村の管理運営に要する経費
- ⑦三笠高校レストランの運営事業費 ・高校生レストランの管理運営に要する経費
- ⑧ゼロカーボンシティ・クリーン水素製造事業

などがあります。

2. 江別市 消防学校

令和6年6月に消防学校新校舎が完成し、供用が開始されたので視察して参りました。新校舎は3階建てで150名を収容できる大会議室や屋内訓練場、模擬消火訓練施設の他、消火訓練で濡れた消防服を乾燥させる乾燥室等が整備されておりました。

3. 大樹町 ユニット型バイオガスプラント

大樹町郊外の100頭ほど飼育する酪農家に設置された分離型のバイオガスプラントを視察して参りました。

この牧場は堆肥盤および堆肥舎が整備されておらず、乳牛から排泄された糞尿を直接ダンプトラックに受けて畑の堆肥置き場に集積する方法だったようです。

ユニット型バイオガスプラントは牛舎から出てきた牛糞を原料槽地下タンクに入れて、その中で敷料の麦稈と牛糞を5センチ程度に切断一次発酵、攪拌し直径3.5メートル×6メートルほどのメタン発酵槽に送りそこで50度ほどに加温攪拌しバイオガスを発生させ、そのガスをトレーラーの中でテント状の容器に集めて、そのガスをバイオガス発電機で発電するシステムとなっている。

このシステムは中古のハウス等を流用することで設備費の節減を図り、原料に他の残渣物を必要としないシステムなので運転が容易であると思われます。

また、処理後の分離固形物はほとんど匂いがしないほどに乾燥しており、牛舎の敷料に利用し、分離液分はバイオ液肥として活用できる。

システムの事業費は約1億で50%の補助を受けて実施しておりますが、発電した電気料は自家消費の他一部売電している。

4. 留辺蘂町 ふぐの陸上養殖 視察

留辺蘂町の廃温泉施設を利用したふぐの養殖施設で、温泉水の熱を利用し、ろ過して養殖水として利用している。

また、養殖の管理には北見市の障がい者施設の利用者が雇用されており、施設利用者の就業機会を与えております。

5. 東神楽町 「複合施設はなのわ」視察

東神楽町は旭川市に隣接した人口1万人に町期間産業は米を中心とした農業で、旭川市に近いこともあり旭川市のベッドタウンとして近年人口が増加している。

旧役場庁舎の老朽化に伴い公共施設集約化検討委員会を立ち上げ、複合施設整備事業を策定した。旧庁舎、旧文化ホール、診療所などを一つの施設に集約して「はなのわ」として完成した。

この施設の周囲を取り囲むように樹木を植栽し、さらに草花をデザインしたガーデンを配しております。

この「はなのわ」の内部は外周を周回できるようになっており、来訪者は一回の来庁でほぼ用事を済ませることができようになりました。

出張復命書

令和6年10月21日

豊富町議会議長 様

氏名 大島 憲 昭

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

| | |
|-----|--|
| 用務 | 議員道内行政視察 |
| 用務先 | 10/15 三笠市 三笠市役所 10/16 江別市 北海道消防学校 10/16 大樹町 エア・ウォーター(株) バイオガスプラント 10/17 留辺蘂町 (株)エムリンクフォールディングス ふぐの陸上養殖 10/18 東神楽町 東神楽町役場 |
| 期間 | 令和6年10月15日(火)から10月18日(金)まで 4日間 |

用務の概要（会議等の概要）

東神楽町 複合施設はなのわについて

当施設について、18日AM東神楽町現地、当町長・副町長・建設水道課職員の対応説明を受けた。
老朽化した複数の公共施設を複合施設事業、平成29年計画、令和3年起工、令和6年8月グランド
オープンで頭所40億円計画で結果、実施金額48億円と説明あるが建造物、設備、外構視察して、
非常に安価に終わっていると思われる。

当町議会により相当の予算減意思が出たらしい。

本町も庁舎建設の時は、発注者(町・行政)と設計者とは機密な意思交換が必要である。

コンサルタント任せでは駄目！

尚、計画施策に当り、検討委員会を設置

検討委員は関係団体の代表者の方など、町民20名で構成した。

当然、今後の人口動態や町民ニーズを捉え、効果的な事業を図る事。

以上